

熟年ジャズバンド仲間と結成

セカンドライフ

④

アンコールの求めに応じ、「ムーソライトセレナーデ」の美しい旋律が流れ出した。ビッグバンドならではの厚みのある響きだ。

東久留米市南沢の有料老人ホーム「カルムコート武蔵野」で12月23日に行われた、アマチュアジャズバンド「タマドリーム ジャズ オーケストラ」(TDJO)の、昨年最後のコンサート。特設会場となったロビーに集まった約60人の入所者たちは、その甘いメロディーに聞きほれた。「ステージからは、お客さんの反応がはつきりわかる。手を打ったり声を出して心から楽しんでくれると、最高にうれしい」。トロンボーン担当で副バンドマスター、金谷勇作さん(67)(多摩市桜ヶ丘)は満足そうだった。

TDJOは2001年6月に結成された。参加資格は50歳以上であること。メンバー17人の大半が60歳を超え、最高齢者は84歳という、全国で

も珍しい熟年バンドだ。元サラリーマンが定年退職後に参加するというケースも多い。

創立メンバーの金谷さんは、1999年に役員を務め

青春の旋律再び奏でる

ていた外資系商社を定年退職した。戦後の混乱期から抜けだ

ニ・グッドマン物語や「グレン・ミラー物語」もくり返

会社では主に営業職畑を歩

は「ない」。そう感じて市民

週末には多摩市で約4時間の練習。自宅から約2時間か



演奏する「タマドリームジャズオーケストラ」のメンバー。中央が金谷さん

し、音楽を楽しむ余裕が出てきた1950年代。金谷少年の心をとらえたのは、進駐軍のジャズ。グレン・ミラーやベニー・グッドマンに代表されるジャズサウンドだった。

しかし、就職と同時にジャズからはきっぱりと手を引いた。趣味と仕事の両立は考えられなかったからだ。使

さっそく市民バンドに参加した。しかし物足りない思い

「懐かしいジャズ」を聞きながら、コンサートの依頼が殺

ホールや進駐軍のキャンプでの演奏経験もある。映画「ベ

いから」

「楽しめなければジャズで

長いフランクがあり、「完全に初心者に戻って」いた金

「熟年による熟年のためのバ

「仕事で良い成績を上げて

【メモ】

高齢者の社会参加活動は活発になってきている。内閣府は1988年から5年ごとに「グループ活動への参加状況」を調べているが、「参加している」は88年の36.4%から

(伊東謙治)